

会頭杯をめぐり真剣プレーの連続  
― 第一回賞企業対抗ゴルフ大会を開催 ―

2月17日、初開催となる会員企業対抗ゴルフ大会を加古川市ゴルフ協会との共催で、加古川ゴルフ倶楽部において開催しました。「企業対抗」として競技色前面に出した大会で、会員企業28社から計68名が参加しました。ダブルペリア方式で2名1チームの合計スコアを集計し順位を決定、「(株)フジヤ號の山本亜也夫さん、長井純一郎さん」が初回の優勝者となり会頭杯を手にしました。優勝インタビューで山本さんは「パートナーが頑張ってくれたおかげ、ハンデキャップにも恵まれました。同組の方もありがとうございました」と語り、相手に賜杯を掲げ満面の笑みで応えていました。



優勝した(株)フジヤ號 長井さん(中)と山本さん(右)

国内外・県内の経済動向を学ぶ  
― 新春経済講演会を開催 ―

2月19日、日本銀行神戸支店長の竜田博之氏を講師に「2024年経済展望」と題した講演会を開催しました。海外経済の動向、日本経済の動向、兵庫県の短観のポイント、管内金融経済概況のポイントについてそれぞれ話がありました。



大勢の参加者で埋まる会場

続いて、管内金融経済概要として、まず景気動向について、兵庫県の景気は一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復していること述べました。国内需要は、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも緩やかに回復、設備投資は増加、住宅投資は横ばい圏内の動き、公共投資は緩やかに増加していること説明がありました。最後は、金融面の動向について、貸出金利高、貸出約定平均金利、預金残高について述べ締めくくりました。参加者は60名

女性会

新年を迎え気持ち新たに  
― 新春懇親会を開催 ―

1月25日、プラザホテルにて新春懇親会を開催、来賓の方を含め31名が参加し親交を深めました。中尾会長の開会挨拶では「男女平等や女性の社会進出で女性の活躍がみられる一方、家庭内の役割分担はまだまだできておらず、家庭内役割分担を進めることで、もっと効率よく社会は回っていくのではないかと話があり、我々女性会が更に女性の視点に立ちお役に立てるように運営していくことを述べました。



アトラクションで大盛り上がり

その後、招待者の方との懇談や新メンバー2名の挨拶の後、アトラクションのバンドメンバー(T.E.A.M. BENTEN)による女性ボーカル、男性4名の演奏で盛り上がり、参加者が一体となりました。皆様がさらに楽しく活動できるように邁進していきます。(理事 井上 恭子)

環境保全研究会

大阪広域環境施設組合を視察  
― 視察研修会を開催 ―

1月26日、エコファクトリー部会の視察研修会を開催、大阪広域環境施設組合の舞洲工場を訪問しました。初めに、舞洲工場の概要について説明を受けた後、コースに沿って見学を行いました。まず、収集してきたごみを溜めるごみピットは24時間稼働しており、最大7000トン溜められると話がありました。

次にごみを焼却して灰にする過程について見学、焼却にはごみピット内の臭気を含んだ空気を利用しており、臭気を外に漏らさない取組として、焼却ガスは蒸気に返還し、余熱を利用して管内の温水シャワーや空調にも利用していると話し、また蒸気タービン発電にも回しているため、余剰電力は売電も行っていると説明がありました。最後に、大阪府で唯一の粗大ごみ処理設備で破碎される過程と、鉄やアルミ等への選別過程を見学し、最後に積極的な質疑応答が飛び交いました。参加者は9名

団体だより

青年部

次年度役員を選出  
― 1月臨時総会を開催 ―

1月23日、1月臨時総会を開催。議案は令和6年度会長所信、役員予定者選出が上程され、会場参加59名、委任状提出100%を達成し、全会員の総意にて承認されました。



ポウリングで交流を深めました

懇親会はニッケパークボウルに会場を移し、久しぶりのポウリングを楽しみ想像以上に盛り上がり、メンバー同士交流を深めました。景品にメンバー企業のクワッソサンたい焼き、ふりかけと海苔のセット、いちごのタルト、チーズケーキ、靴下など豪華賞品を用意、順位発表時には大いに盛り上がり、メンバー企業の紹介にもなりました。

次年度の組織のためにと総務広報委員会一同で奔走した臨時総会も無事終わり、事業報告でしっかりと次年度へと繋いでいきたいと思

います。(総務広報委員会 井本 光昭)

令和6年度役員(敬称略・順不同)

監事	大谷 稔彦
監事	杉浦 元記
直前会長	竹内 一真
会長	山本 涉
副会長	井本 光昭
副会長	岡田 健司
副会長	高原 佳祐
副会長	山本 裕一
専務理事	松下 智哉
理事	大塚 靖治
理事	窪田 健二
理事	小林 賢人
理事	坂本 哲也
理事	佐藤 正巳
理事	杉本 望光
理事	高橋 香奈
理事	高松 志行
理事	鳥濱 誠司
理事	中野 二郎
理事	西田 靖敏
理事	西野 純平
理事	新田 大
理事	原田 哲
理事	藤原 智也
理事	富士原 満
理事	松本 速人
理事	本岡 卓也
理事	山本 芳久

加古川の未来を見据え意見交換  
― 2月例会を開催 ―

2月5日、2月例会「地域交流繋ぐ絆」～未来を見据えた今我々にできる事～を開催しました。この例会の目的を「産官学で意見交換を行い、多様で柔軟な発想を引き出すために、加古川交流研究会や地域交流フェスティバルで得た知識と経験を共有する事で、加古川を持続可能な未来へ繋ぐ事」とし、岡田市長、野北県民局長、市職員、兵庫大学生、カコリバースの方々にもご参加頂きました。



岡田市長と意見交換

地域交流フェスティバルの報告市の駅周辺再整備に向けた取り組み、加古川かわまちづくりの計画や、東播磨地区の重点取り組みについてご話いただきました。その上で「未来を見据えた今 我々にできる事」をテーマにテーブルディスカッションを行いました。各テーブルでは活発な意見交換ができ、

環境保全研究会

大阪広域環境施設組合を視察  
― 視察研修会を開催 ―

1月26日、エコファクトリー部会の視察研修会を開催、大阪広域環境施設組合の舞洲工場を訪問しました。初めに、舞洲工場の概要について説明を受けた後、コースに沿って見学を行いました。まず、収集してきたごみを溜めるごみピットは24時間稼働しており、最大7000トン溜められると話がありました。

次にごみを焼却して灰にする過程について見学、焼却にはごみピット内の臭気を含んだ空気を利用しており、臭気を外に漏らさない取組として、焼却ガスは蒸気に返還し、余熱を利用して管内の温水シャワーや空調にも利用していると話し、また蒸気タービン発電にも回しているため、余剰電力は売電も行っていると説明がありました。最後に、大阪府で唯一の粗大ごみ処理設備で破碎される過程と、鉄やアルミ等への選別過程を見学し、最後に積極的な質疑応答が飛び交いました。参加者は9名

団体だより

青年部

加古川の未来を見据え意見交換  
― 2月例会を開催 ―

2月5日、2月例会「地域交流繋ぐ絆」～未来を見据えた今我々にできる事～を開催しました。この例会の目的を「産官学で意見交換を行い、多様で柔軟な発想を引き出すために、加古川交流研究会や地域交流フェスティバルで得た知識と経験を共有する事で、加古川を持続可能な未来へ繋ぐ事」とし、岡田市長、野北県民局長、市職員、兵庫大学生、カコリバースの方々にもご参加頂きました。



次年度もよりよい活動が出来る様邁進します

発表すること共  
有し、有意義な時間となりました。  
今年度の委員会方針に掲げていた「加古川YEGと地域の方々・他団体・行政を繋ぐ架け橋になり、人と人との繋がりを深め成長する」ということが、達成できたのではないかと思います。(地域交流委員会 大橋 裕子)

「商工祭 加古川楽市」の第20回を記念し、プロモーションビデオを作成しました。楽市の歴史や魅力を感じていただける、そんなプロモーションビデオになっております。ぜひご覧ください。お問い合わせは、楽市実行委員会(第20回楽市実行委員会一同)

